



英語翻訳者養成コース クラス一覧

総合翻訳科

翻訳スキル、表現力、文法力、構文読解力を段階的、かつ総合的に養成するコースです

基礎科 1

【達成目標】 本格的な翻訳訓練にそなえ土台を作る。英文法を体系的に再確認し、翻訳に必要な文法力・構文分析力の完成をめざす。

【学習内容】 ● 原文を論理的に分析し、正確な文法的理解に基づく訳文を作成できる
【習得スキル】 ● 構文分析やリサーチなど、翻訳プロセスを理解する
● 逐語訳にとどまらず、原文が意図する意味をとらえた訳語選択を意識できる
以上を、英文法の重要項目ごとに作成されたオリジナル教材を通して身につける。

【課題の割合】 英→日 60%、日→英 40%

基礎科 2

【達成目標】 逐語訳から翻訳に移行する。構文・文法ミスによる誤訳をゼロにする。原文の意味を論理的に理解し、過不足なく伝える力を身につける。

【学習内容】 ● 正確な訳出ができ、原文の解釈ミスや文法ミスを原則としてゼロにする
【習得スキル】 ● 原文の意図や用途をある程度考慮しながら、訳語選択や訳文構成ができる
以上を、典型的なビジネス文書(報告書、記事、プレゼン資料など)の翻訳に取り組むことによって身につける。

【課題の割合】 英→日 50%、日→英 50%

本科

【達成目標】 「通じる訳文」から「商品としての翻訳」へ移行する。高い品質を求められる翻訳業務を強く意識した訓練を通して、翻訳のプロをめざせる力を身につける。

【学習内容】 ● 訳文の表現の幅を広げ、文書の用途にふさわしい訳語や文体の訳し分けがある程度できるようになるとともに、さまざまなビジネス文書に対応できる翻訳の総合力を高める
● 必要な訳語の統一ができ、一方で、文脈に応じた訳し分けもある程度できる
● 正確な訳出力を前提に、マーケティング文書などにも対応できるライティング力を磨く
以上を、プレスリリースや報告書、契約書など典型的なビジネス文書の翻訳課題を通じて身につけるとともに、訳質向上をはかる。

【課題の割合】 英→日 50%、日→英 50%

実践実務科

【達成目標】 「商品としての翻訳」さらには「読ませる翻訳」を仕上げるプロセスを習得する。訳出スキルに加えてプロ翻訳者に求められる「現場対応力」(=プロとしての心がまえや規範)を身につけて、翻訳業務に対する高い遂行力の取得をめざす。

【学習内容】 ● 原文の意味や目的、用途を正確に理解し、それぞれを反映させた質の高い訳文を安定的に作成できる
【習得スキル】 ● 翻訳プロセスの演習や講師講評から、自発的に学び、自ら答えを導き出せる

【課題の割合】 英→日 50%、日→英 50%

ビジネス英訳科

ジャンルを問わず、ニーズが拡大し続ける和文英訳ビジネス文書の英訳スキルを高めるコースです

基礎科

【達成目標】 日本語の原文の意味を論理的に理解し、正確な読解力を強化すると同時に、明瞭かつ効果的に英訳する基本的なスキルを身につける。

【学習内容】 ● 正確な訳出ができ、原文の解釈ミス、訳文における文法ミスが原則として存在しない
【習得スキル】 ● 実務翻訳で必須の簡潔でわかりやすい英語表現を使って訳出できる
● 原文の意図や用途をある程度考慮しながら、訳語選択や訳文構成ができる
以上を、典型的なビジネス文書(報告書、記事、プレゼン資料など)の翻訳に取り組むことによって身につける。

【課題の割合】 日→英 100%

本科

【達成目標】 「通じる英訳」から「商品としての英訳」へ移行する。高い品質を求められる英訳業務を強く意識した訓練を通して、日英翻訳のプロをめざせる力を身につける。

【学習内容】 ● 英訳の表現の幅を広げ、文書の用途にふさわしい訳語や文体の訳し分けがある程度できるようになるとともに、さまざまなビジネス文書に対応できる翻訳の総合力を高める
● 必要な訳語の統一ができ、一方で、文脈に応じた訳し分けもある程度できる
● 正確な訳出力を前提に、マーケティング文書などにも対応できるライティング力を磨く
以上を、プレスリリースや報告書、契約書など典型的なビジネス文書の和文英訳課題を通じて身につけるとともに、訳質向上をはかる。

【課題の割合】 日→英 100%

専門別翻訳科

高度な翻訳スキルの養成に加え、各専門分野特有の用語や概念を実践的な訓練を通して学ぶハイレベルなコースです

技術翻訳

【達成目標】 技術翻訳における実践的な訳出スキルを、産業技術の集合体ともいえる自動車産業を中心とした教材を用いて習得する。

【学習内容】 ● 分野特有の表現・頻出表現、専門用語を習得し、正確かつ確かな訳出をめざす
【習得スキル】 ● 翻訳業務を行う上で必要とする技術翻訳、テクニカルライティングの基本パターンを理解する
● いろいろな分野の技術やシステムの構造について理解を広げる
以上を、自動車産業を中心とした教材を用いて実践的な演習、講義を通じて身につける。

【課題の割合】 英→日 50%、日→英 50%

金融・IR翻訳

【達成目標】 金融市場の動向やインベスター・リレーションズに焦点をあて、主要な情報事項の内容を理解し、それに関する訳語、訳出表現を習得する。

【学習内容】 ● 形式の異なる文章の訳出演習を通して、金融・IRに関連する知識の強化を図る
【習得スキル】 ● 効率よく訳出できるようになるためのポイントを多面的に指導
● 訳出に必要な知識を詳しく解説し、知識の定着と柔軟な応用を促す
以上を、有価証券報告書や決算短信、株主総会招集通知、統合報告書などのIR関連文書や、景気動向や物価情勢に関するレポートなどを用いて訓練を行いスキルの向上をめざす。

【課題の割合】 日→英 100%

特許翻訳

【達成目標】 特許明細書の翻訳業務において求められる訳出スキルを、市場ニーズに基づいて作成された教材の演習を通じて効率よく習得する。

【学習内容】 ● 特許明細書の項目ごとに基本パターンや論理の組み立て方を理解する
【習得スキル】 ● 分野特有の訳語や言い回しを習得し、ルールに則った正確な訳出ができる
● 明細書に記載されている情報を活用して正しく訳出するスキルを身につける
以上を、ニーズの高い技術分野から抽出された課題を使って行われる講義を通じて習得する。

【課題の割合】 英→日 10%、日→英 90%

医薬翻訳

【達成目標】 医薬翻訳に携わる者としての心構え、そして求められる知識とスキルを理解し、医薬翻訳に取り組むために必要な礎を築く。

【学習内容】 ● 医薬翻訳業務で受注頻度の高い、副作用・安全性報告、CTD(新薬承認申請資料)、CSR(治験総括報告書)、プロトコル(治験実施計画書)など、現場で遭遇する文書を教材に採用
● 各種ドキュメントが規制当局のどのような規制・法令(GCP、GVP等)に準拠すべきかを理解し、高付加価値な翻訳ができるようになることをめざす
● 治験(臨床試験)や新薬承認審査のステップを学び、真のニーズに応えられる質の高い訳出スキルを習得する

上記のトピックを反映した課題を毎週翻訳し、添削と授業でのフィードバックを通して、医薬翻訳の実務スキルを習得する。

【課題の割合】 英→日 70%、日→英 30%

法務翻訳

【達成目標】 契約書の仕組みを理解すると同時に、授業での演習を通じて、訳出の基本ルールを習得する。

【学習内容】 ● 各種契約書を訳出する際に必要な、基礎知識や頻出表現を習得する
【習得スキル】 ● 原文を正確に理解する重要性と、精度の高い訳出力の必要性を知る
以上を、実務レベルの教材、そして契約書の翻訳を専門に行う翻訳者である講師の指導により身につける。

【課題の割合】 英→日 40%、日→英 60%

映像字幕翻訳 本科/ワークショップ

【達成目標】 字幕作成の基本ルールと字幕制作業務のプロセスを理解し、高度な字幕翻訳力と映像字幕翻訳者に求められる現場対応力の習得をめざす。

【学習内容】 ● 字幕作成の基本ルールと作業プロセスを、講義、演習を通じて詳しく知る
【習得スキル】 ● 授業を通じて、字幕制作の作業プロセスを理解する
● 毎週の課題提出と、毎月1回行われるスクーリングでスキルの定着をめざす
● 積極的にOJTに参加することにより、現場対応力の向上をめざす(ワークショップクラス)
以上を、ドキュメンタリー、ニュース、ドラマなどいろいろなジャンルの映像の訳出訓練を通じて習得する。

【課題の割合】 英→日 100%